

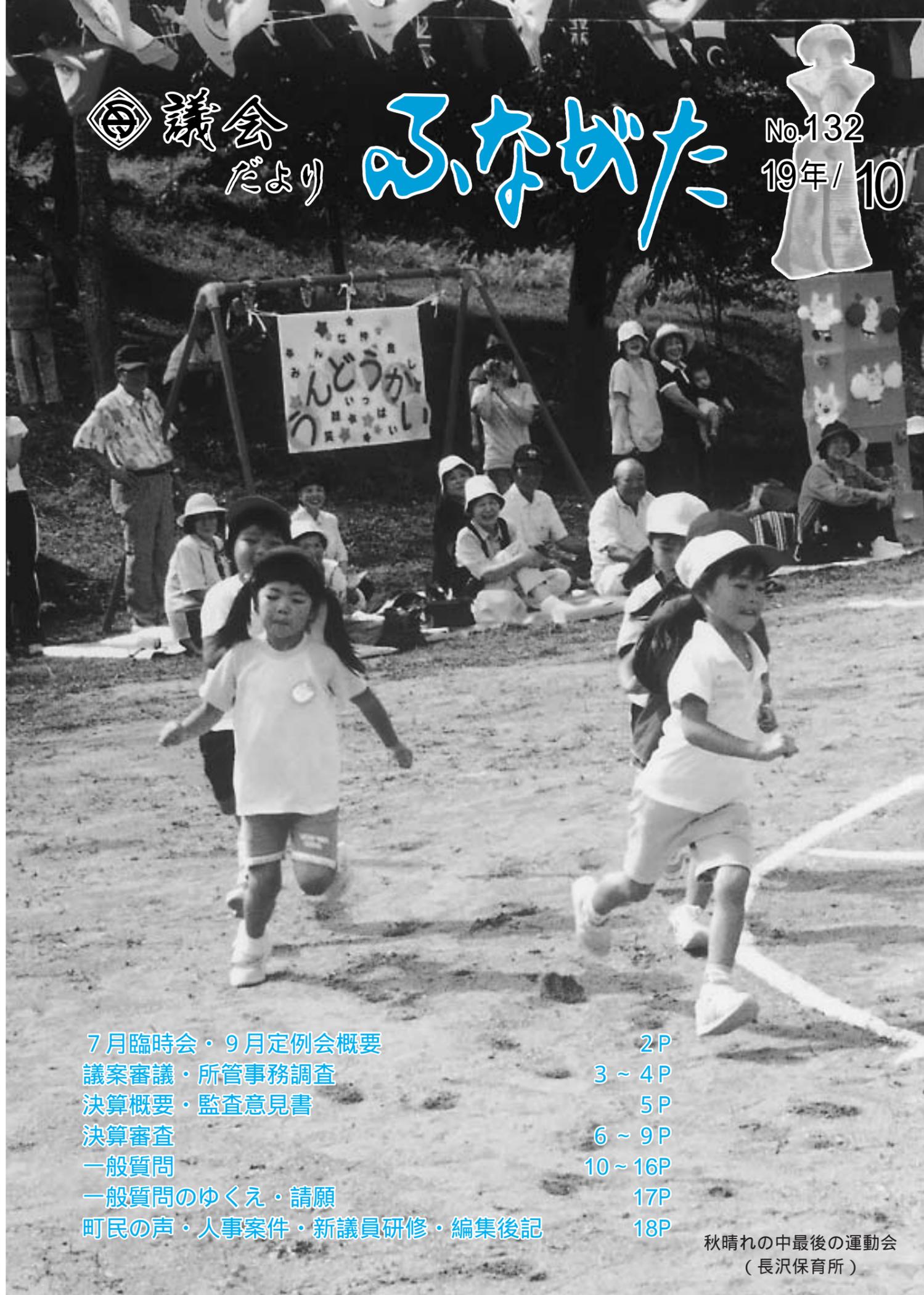


議会  
だより

# ふなだ

No.132

19年 / 10



7月臨時会・9月定例会概要	2P
議案審議・所管事務調査	3～4P
決算概要・監査意見書	5P
決算審査	6～9P
一般質問	10～16P
一般質問のゆくえ・請願	17P
町民の声・人事案件・新議員研修・編集後記	18P

秋晴れの中最後の運動会  
(長沢保育所)

第2回臨時会  
7月30日  
9月定例会  
6日~13日

9月定例会は、6日より13日までの会期で開催されました。一般質問に続き、一般会計、特別会計の補正予算、統合舟形保育所建設工事請負契約一部変更を原案どおり可決しました。18年度決算については特別委員会を設置し本会議において、認定しました。

総額60億2829万円

# 平成18年度決算を認定

## 主な付議事件

### 臨時会

統合舟形保育所建設工事  
請負契約

### 9月定例会

一般会計、特別会計  
補正予算

統合舟形保育所建設工事  
請負契約の一部変更  
舟形町情報公開審査会  
委員の委嘱

## 町初の一般競争入札導入

統合舟形保育所建設工事  
請負契約締結

87.04%の落札率で株式会社沼澤工務  
店に決定  
契約金額2億7237万円

## 9月補正予算

会計名	補正額	予算総額
一般会計	3,700万円	371,800万円
国民健康保険	560万円	67,660万円
介護保険	2,830万円	59,410万円
簡易水道	691万円	15,831万円
農業集落排水	3,470万円	33,900万円
公共下水道	110万円	12,470万円

## 質答 応疑

### 臨時会

**議員** 要望してきた一般競争入札を今後も拡大してやっていくのか。また地元業者を使う考えは。  
**町長** 一般競争入札にあたり、要項を作り、これからは1億5000万円以上の工事については、一般競争入札でやると決定しました。それ以下の工事については、地元業者を優先にやるべきではないかと考えています。

### 定例会

**議員** 一般競争入札の予定価格の説明を。  
**町民課長** 入札公告の段階で予定価格を公表していません。価格については、設計ができた時点で工事期間等の工程内容を見て決めています。  
**議員** 一般競争入札とは「告示により参加したい不特定多数の者を入札に参加させ、最も有利な条件で申し込みした者と契約する方法です。一方指名競争入札とは、予め入札に参加させる者を決め、その何人かの者のみで入札し、最も良い条件で申し込みをした者と契約する方法です。」  
**議員** 町道舟形停車場線消雪敷設事業の減額の理由は。  
**振興課長** 本管と舗装分の補助金が付かず工事が出来ず減額となったが、本管工事は20年度の予算で対応したいと思います。



登下校の安全確保にも活躍

**議員** 町営住宅管理事業調査内容等を伺います。  
**振興課長** 住宅委託料は、1号棟の外壁について痛みが激しい部分があるので、外壁工事の設計委託料として計上しました。

**議員** スクールバス管理費の増額補正の内容をお聞きしたい。  
**教育次長** 教育センターで理科の実験や講演会などの数が増え、その運転手雇上賃金です。

**議員** 鉄橋の上流、川向地区、若あゆまつり会場脇、十二川原の砂利等は取らないのか。  
**振興課長** 今回チャイルドランド脇、1000の砂利を県で撤去する。その他は順次要望していきたいと思いません。

**議員** 猿羽根山公園管理事業の内容について。  
**振興課長** 相撲場補強工事で、基礎部分の雪の重み等を考えて、ネマキコンクリートにするための補正予算です。

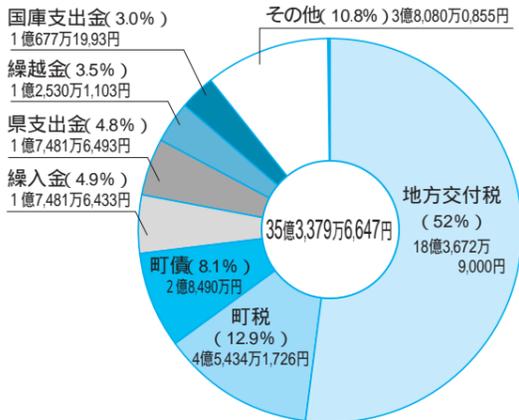


老朽化進む町営住宅1号棟

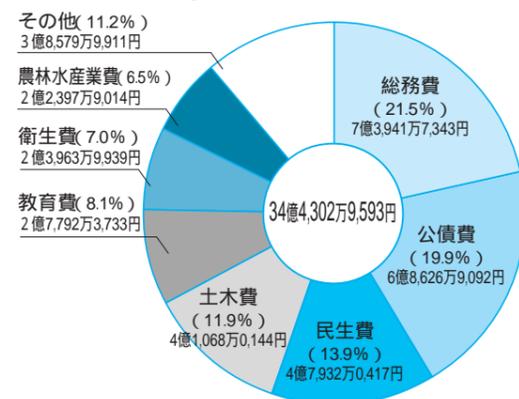
# 最少の経費で最大の効果を

## 一般会計

歳入 (35億3,379万6,647円)



歳出 (34億4,302万9,593円)



歳入歳出差引額  
9,076万7,054円



信夫正雄 委員長

平成18年度決算審査は、会期中9月10日から13日まで決算審査特別委員会を設置し、委員長に信夫正雄総務振興常任委員長、副委員長に、叶内富夫文教民生常任委員長を選任し、一般会計、6特別会計を慎重に審査し、満場一致で承認しました。

## 特別会計 (単位: 円)

会計別	歳入額	歳出額
国民健康保険	631,614,349	601,380,502
老人保健事業	741,853,719	741,853,719
介護保険	572,159,011	549,183,879
簡易水道事業	169,812,021	162,400,270
農業集落排水事業	303,106,032	301,107,978
公共下水道事業	233,279,761	229,338,834
合計	6,185,621,540	6,028,294,775



佐藤代表監査委員

## 監査意見書

主要な財政指標を前年度対比で見ると、実質収支比率が1.4ポイント減少、経常収支比率が0.4ポイント減少、公債費比率が0.8ポイント減少するなど、財政は前年度よりも若干好転している。これは上下水道などの整備がほぼ完了したこと、起債の償還がヒックを脱したことなどによるものである。今後引き続き財政運営には慎重を期されたい。また、町税や使用料等の滞納・未納が前年度よりも大幅に増加しており、極めて憂慮される状況にある。財政を圧迫しているのはもとより善良なる一般町民との公平・平等を欠くことにもなるので、対策をさらに強化して回収に当たってほしい。

町税は町民税が増加しているが、固定資産税が減少しており全体では前年並となっている。地方交付税が年々減額され、厳しい財政事情の中で、人件費をはじめ義務的経費の削減に努力されているのが随所に認められ評価をしたい。

一方、予算の削減・経費の削減で町の活力が失われるのが心配されるので、皆で知恵を出し合い、「最少の経費で最大の効果」を目標に、更に努力されることを要望する。

議員 特別会計の職員給与も、一般会計の中で人件費としてしているのか。

まちづくり課主幹 基本的には、特別会計の簡易水道農業集落排水、公共下水道については、特定の収入でその経費をまかなうことが原則となっています。人件費については使用料でまかっています。

議員 特別会計によっては人件費の置き方に違いはあるのか。

まちづくり課主幹 人件費は各特別会計に置くのが普通ですが、国民健康保険は、保険料との絡みで、人件費は一般会計に置きなさいという指導があるので、国民健康保険だけは置いていません。



役場上下水道班執務状況

議員 まだ工事が始まって間もないのに請負契約の変更は早急すぎないか。2千万円近く追加することの説明を。

町民課長 追加工事は内装家具やカーテン及び雪囲い工事等で、もともと必要なものとして見込んでいたが予算としては足りなかったためです。入札段階では予算のある範囲で発注したのでこの形になりました。内装家具等は10月に発注を要するため変更になりました。

議員 議会では、町の業者を使ってほしいという要望を出しているが。

町民課長 地元業者の育成についての配慮は、入札が終わった段階で沼澤工務店の担当にできるだけ配慮してほしいと要望しています。建物の区分4棟のうち2棟は、地元の工務店を中心に依頼し、大工さんはある程度地元の人で働くこととなります。材木は、県産木材の中なるべく地元ということ、最上広域森林組合、町内の製材所を考えているとのことでした。

また、外構工事については、町内業者に別途発注を検討しています。

## 総務振興常任委員会所管事務調査

7月10日の結果について  
今後の留意点

- 水道関係
  - 計画的に石綿管の交換を急ぐこと。
  - 供給単価の引き下げに努力すること。
  - 水道料未納を防ぎ、「水道給水停止までの手続き」に沿った給水停止を実施すること。
- 農集排処理関係
  - コンポストの在庫が多い。処理に一層の努力が必要である。
  - 実証園をつくり、コンポストの肥効能力を見せるべきである。
  - 適正価格をはっきりすべきである。
- 除雪路線関係
  - 広域農道大平亀割バイパス間は冬期間の利用台数も少なく新庄市でも除雪には消極的であり、現段階での除雪は時期尚早と思われる。
  - 大雪の際の住宅密集地の排雪にも配慮した除雪体系を考える必要がある。
  - 国道13号線から若あゆ温泉への入り口関係
    - 実現性の高い進入路を選択するため、行政の早期結論が必要である。



長者原・福寿野水センターにおいて

# 決算審査特別委員会質疑

**議員** 町民税、固定資産税、軽自動車税合わせると315万5752円の不納欠損をしているがその経緯は。また、1540万円の未済額があるが収納対策はどうなっているのか。

**町民課長** 18年度の不納欠損は、個人の町民税11件、固定資産税8件、軽自動車税1件の合わせて20件。町外への転出で居場所がわからない者や、自己破産、生活困窮者であり、差し押さえするものがないという理由で処分した。収納対策として、納付したときは一部を古い納期から入れることにしています。

**議員** 商標登録を更新しているが、「縄文の女神」の商標はどんなものに利用しているのか。

**まちづくり課長** 「縄文の女神」の名称につきましても、なかなか目にする機会がないと思いますが、舟形の観光的なものとかこれから開発商品が出てくることも期待できますので、そういうときには是非この登録商標を将来的に有効に町の発展のために活用していきます。



縄文の女神をデザインした商品

**議員** 町民バス、温泉バス、デマンドバスを一体化した運行体系ができないか。

**振興課長** 温泉バス、町営バスにスクールバスを入れた形で何とかできないか検討中です。次回の改正で、ほとんど利用者がいないところは運行しないという形で考えていますが、もう少し時間をかけて検討してみたいと思います。

**議員** 県の子育て応援バスポート事業が来月からスタートする。町にはどの程度の協賛事業所があるのか。また、町としての支援内容は。

**振興課長** 最近になって町内8店から協賛の申し出があったと県から聞いています。具体的な内容は未定です。この制度は県でも具体的な内容がなく各協賛のサービスについては一任することです。

**議員** 町のホームページに關しての今後の方向性は。総務課長 アンケートを実施中であり。各家庭と町を光ファイバーで結べば、なお一層ホームページも充実します。また、町民がいつでもどこでも、町の情報なり全国の情報なりが得られる体制も充実できると思います。現在、各担当課で情報の更新をしていますが、常時、新しい情報を充実したものにしていきたいと考えています。



未満児の募集が期待される

**議員** 臨時保育士の募集はあるのか。

**町民課長** まだ、募集はしていません。統合保育所については、新しい体制ということもあり、早目にその分の募集し年内にある程度の体制を整えたいと思います。3歳4歳5歳の幼児については入所者数はわかりますが、未満児についての募集がどのくらいあるのか、その辺の募集の時期等検討しながら年内には体制を整えたいと思います。

**議員** AED(自動体外式除細動器)の東部地区・南部地区への配置を。

**町民課長** 県の補助事業で若あゆ温泉とB&Gの体育館に設置した。その他町内には、消防分署、県民ゴルフ場、光生園、役場にある。役場ものは、日本赤十字社から寄贈していただいたもので、いろんなイベントや学校行事に貸出している。AEDは、応急処置として成果をあげている。堀内地区・長沢地区に配置になっていないので今後の検討課題である。

**議員** 霊柩車が廃止になった反響は。

**まちづくり課長** 何件か苦情はあるが、これまでの経過を話して了解していただいた。民間の葬儀屋へ事前に関し合わせて霊柩車だけでも利用できることを確認し窓口で説明して理解と協力をお願いしていく。



松くい虫被害(荷渡権現)

**議員** 農地・水・環境保全向上対策事業に今年度の実施希望数は。また、事務処理への町職員の手助けは。

**振興課長** 19年度は24の地区が採択になっている。振興課とまちづくり課の職員が協力して事業を進めているが、国の会計検査の対象でもあるので手落ちのないように事務処理を指導していきます。

**議員** 荷渡権現の松くい虫被害に早急な対策を。

**振興課長** 荷渡権現は貴重な町・地域の財産であるので、教育委員会、町長と相談してできるだけ保存されるように検討していきたい。

**議員** 中山間地域など直接支払い交付金のうち、共同事業として取り組む分の課税はどうなるのか。

**教育次長** 翌年度に繰り越した場合にはそれぞれ各面積に応じて課税されると規定されている。農家の方に不利益、煩雑にならないように要望している。繰り越す場合、なぜ残すのかを明確にする必要があり、たとえば水路の整備など交付金を繰り越して整備した方が合理的である場合もある。金額についても、きちんと揭示しながら対応する必要がある。

**議員** グリーンツーリズムへの推進協議会援助会費9万円を支出している。町の推進状況は。

**振興課長** 負担金については県全体のグリーンツーリズム推進協議会に対する負担金で、これによって体験型の観光が普及している現状です。JR東日本とタイアップで「駅長おすすめの旅」また、事業としてPRしている。町の施設である猿羽根山や若あゆ温泉を訪れる方も増えている。今年の場合、松橋の観光光らび



今後活用が期待される観光物産センター

**議員** 舟形駅舎の観光物産センターの現状と今後の利活用について。

**振興課長** 予算化している経費については、ほとんどが人件費に充てられているのが現状です。JR乗車券の販売も委託されており、その手数料は委託者に支払われています。委託者にはインターネットを活用した町の観光PR等も依頼しておりますが、今後は郷土物産品の展示だけでなく、販売にも努め、観光PRの場所として活用していきます。

**議員** 商品券の活用による商工会の活性化について。

**振興課長** 商工会が活性化することは町の活性化につながります。今後とも町等が贈呈する賞品等は、商品券の活用を推進していきます。

**議員** 猿羽根山の施設の今後の活用策は。振興課長 売店の営業については5年間の使用契約を締結しておりますが、猿羽根山の観光客の減少に伴い開店している期間が限られているようです。町としては体験型の観光を足がかりにして、猿羽根山への観光客が増えるよう努力していきます。

**議員** 野田地区用排水工事で計画されていた道路の舗装工事はいつ完了するのか。

**町長** 幹線道路の舗装についても県との約束で工事が進められましたが、県の財政事情により、舗装部分を除き工事は完了しました。今後は町の単独事業として少しずつ舗装工事を進めます。

**振興課長** 維持管理費の予算の中で工事を進めましたが、平成20年度当初予算に計上できないか検討していきます。



舗装工事はいつ完了か(野田地内)

**議員** 道路維持費61万円を増額補正しながら、同額を不用額としているがなぜか。また、町道除雪対策は。

**振興課長** 不用額の主なものは、道路台帳更新業務委託料が入札の結果、安く落札され、同程度不用額ができました。除雪委託業者とのトラブルはあってはならないことなので、除雪シーズン前には業者と話し合いの場を設けて、指導していきます。

**議員** 河川費を40万円減額補正しながら予備費を91万円増額流用した理由は。

**振興課長** 河川費の減額補正は委託料の減額によるものです。予備費の増額流用については昨年12月の災害処理費として支出したものです。

**議員** 舟形向山地区の宅造は町と開発業者が一体となり推進してきた経緯もあり支援すべきでないか。

**町長** 34区画を分譲したが空地が目立ちます。今まで開発業者と話し合いがなかったため、関係者と話し合いを持ち完全に向けて取り組んでいきます。

**議員** 大石田畑線期成同盟会の会費3万円以外に運動資金としての積立金はあるのか。

**振興課長** 年1回の決起集会の資金として沿線の関係町村(舟形・大蔵・大石田)で会費を出し合っているだけで、積立金はありません。

## 特別会計

### 国民健康保険

**議員** 収入未済額と不納欠損額が合わせて2千5百万円と多くなっていることについての説明を。

**町民課長** 国保税の滞納世帯の数は、町内86世帯、転出世帯で9世帯、合わせて95世帯になっている。保険税は、現年度と滞納分を合わせると370万円近く増え、金額が大変大きいので、今年度も職員の協力を得て徴収したい。

**議員** 国民健康保険税の減額補正の理由は。

**町民課長** 医療費をまかなうための財源である国保税の調定額に対し、収納額、収納率が低下したため、当初額の収納が見込めず減額補正することになった。当初予算編成時の12月の段階では、医療費の適正な見積りが困難であるため、過去のデータから推計した仮算定のな予算措置となっている。

### 介護保険

**議員** 認定調査等費の主治医意見書作成手数料について説明を。

**町民課長** 介護保険を利用する方が窓口に来て申請をする場合に、主治医からの意見書作成手数料は介護保険から支払われる。意見書が必要な場合は、担当が直接又は郵送で主治医にお願いしている。トラブルがあったか確認し、あれば徹底したい。

### 簡易水道

**議員** 料金納入のためには、強制措置ができるものと考えているが、その前に納入システムの検討をすべきではないか。

**振興課長** 督促状の発行と納付相談、電話での催促や家庭訪問を行い、8月末現在で185万6065円の納入がありました。また820万円の未済額がある。再度督促をして納付相談に来てほしいと伝えているが、連絡をとるのが難しい家庭もある。このまままなれば給水停止するとの通知をそれぞれの家庭に書留で郵送する予定である。

### 農業集落排水

**議員** コンポスタの販売評価は。

**振興課長** 年間千袋ぐらい生産されている。1袋10kgで210円で販売している。現在、約百袋在庫がある。単価は、郡内のディスカウントスーパーなどの調査を基に設定した。使用方法についてPRし、値段や成分粒の大きさや水分など、業者と相談し、使用される方から喜んでもらえるようにしたい。



施設を利用しているが負担が大きい

**議員** B&G海洋センターの施設使用料の見直しが必要ではないか。

**教育次長** 町内のスポーツ少年団等が利用する際は減免措置を行っています。料金設定については来年度関係者と再度相談させていただきたい。

**議員** 市町村駅伝の結果が毎年最下位である。結果を出せるよう効果的な方法はないのか。

**教育次長** 強化策の効果と思われませんが一般選手力の差はなくなってきました。毎年一つでも上にいけるよう対策を検討していきます。

**議員** 情報教育のソフト面の充実が必要と思われる。また、パソコンの更新が必要ではないか。

**教育次長** ソフト面はパソコンに精通している教職員が情報処理委員として児童生徒への指導にあたりともスキルアップのため外部講師による指導も行っています。パソコンについては平成17年度に全て更新しており改善されています。



本管工事は完了したが、加入者は

### 公共下水道

**議員** 加入率が58%というのは低く、伸びも低いのではないか。

**振興課長** 高齢者世帯ということもあると思うが、思ったより加入者が伸びていないので、PRして加入促進にあたっていきたい。19年度については8月末で27世帯加入している。

### 財産調査

**議員** 土地開発基金の錯誤による訂正についての説明を。

**総務課長** 10数年前のことで処理経過は分からないが、土地が極端に増えているのに現金が減っていないことはあり得ないことです。誤り記載と言わざるを得ません。更に、平成15年度と16年度に町有財産の全部の土地を調査した時に、この基金の土地も町有財産に含めてしまいました。そのため今回の決算で錯誤として処理させて頂きました。



加藤憲彦 議員

# 大雨による水害防止対策について

## 浸水被害防止のため砂利撤去を県に要望



川向地区前の河川敷

**質問** 地球環境の変化や温暖化の影響が、ここ数年、豪雨に見舞われ、特に最上小国川が氾濫し、十二川原の河川公園や舟形第三町内の寺下地区、川向地区に床上浸水や、農地などに被害をもたらしています。舟形第三町内の寺下地区は最上小国川の増水により、農業用水路の流水を飲み込めず内水氾濫するもので、消防団も出動し消防ポンプ車による内水排除に長時間を要しているのが実情です。対

策の一助として、十二川原河川公園前に長年の増水で積み重なった砂利の撤去と鉄橋までの間の中州の改修により、増水・氾濫の軽減が図られるものと思えます。あゆ等淡水魚への影響も考慮し、また漁協・県等とも協議しながら、整備を強く望むものです。

**町長** 近年の気候の変化は著しいものがあり、地球温暖化の影響と言われております。今年の気候も冬は少雪、4月に30度を超える気候になったかと思えば、7月は寒く、8月からは連日真夏日が今日まで続き、正に異常気象そのものです。さて、本題の1点目の水害防止対策についてですが、毎年のように大雨が降ると必ずと言っていい程、その地区は農地被害や床上浸水被害に見舞われます。その度に消防団がポンプによる長時間排水を行わなければならない実情にあります。解消方法は色々考えられますが、夫婦川は小国川の支流であり、小国川が増水すると逆流を防ぐため夫婦川の水門を閉めることとなり、夫婦川の流水が寺下地区に溢れることとなります。申されるように近年、一般的に河川内の堆積物が多くなっております。これを除去をお願いしております。その地区の一部については今年度、県より除去してもらったことになっております。

### 最上地域のガソリン価格について

**質問** 最上地域のガソリン価格が、他地域に比べ高すぎると思う話をよく聞きます。若者の定住対策にも影響を与えています。最上地域揮発油業組合の努力と行政指導等で、価格を抑えていただきたいが、なにか対策がないか伺います。

**町長** 2点目のガソリン価格についてですが、近年、原油価格の高騰による価格の変化は著しいものがあります。スタンドではコスト削減のため、セルフ、会員制、土日限定割引や多量消費割引など、色々な方法で顧客確保に努め苦心しております。これからの冬期間を控え灯油価格も憂慮されます。これは産油国との国際価格交渉、石油精製コスト、更に元売り小売りの経営努力と難しい問題ではあります。地区組合に要望をさせていただきます。



野尻益夫 議員

# 次期町長選への再出馬の意向は

## 後援会、関係者と相談し、決断

**質問** 伊藤町長は平成15年12月、新庄市との一市一町との合併に反対を表明し、町民と協働して、住民参加型の町づくりや情報公開による開かれたガラス張りの町づくりなどを主な公約に

掲げ、無投票当選で、平成16年2月26日、第14代舟形町長に就任されました。就任以来、3年6ヶ月を振り返り、町政を担うての所感や公約の達成率は、これらを総合して、町長とし

ての自己評価した場合、何点位と考えるか伺いたい。次に、当町を取り巻く情勢は、厳しいものがありませんが、次期町長選については町民の関心が高いが、平成20年2月25日任期満了になる町長選挙に再び、立候補する考えがあるのか、決意があれば、その所信を伺いたい。



質問に答える町長

**町長** 私が町長に就任して3年6ヶ月になります。この間執行した主な仕事を申し上げます。一、新庄市と舟形町の合併については、住民投票を実施して合併しないことに決定いたしました。二、自立の町をめざして行政改革を実施しました。収入役・助役を置かない。課長職を9人から5人に減らしました。仕事のやり方を職員を削

減する為にグループ制に変更しました。15年度と19年度の職員数を比較すると12名削減しています。又議会議員数も6名削減していただきました。又町長の報酬を20%減額しています。行政の無駄をなくする為に集中改革プランを作成しました。各種行政委員会を統廃合し委員の数を5人以上削減しました。補助金の見直し等も実施しています。町職員の意識改革を図っています。その結果残業手当半分以下に減りました。庁舎掃除、河川公園等の草刈、缶拾い、各施設の雪下ろし等自主的に実施しています。

15年度決算と18年度決算で比較すると人件費で年間1億1千万円、物件費で5千3百万円減っています。減らした金を利用して新しいサービスも沢山行いました。自己採点ということですが、実施した結果をみて町民の方々に点数をつけていただければと思います。協働の町づくり、情報の共有を図りながら明るい町を建設したいと思っています。2期目の町長選への出馬はとのことですが、来月あたりに後援会や関係者と相談して決断したいと思っておりますのでよろしくお願いたします。



叶内富夫 議員

# 町活性化の対策と施策

## 町有地の活用で若者の定住促進を図る



早急に有効活用が求められる用地（長沢）

**質問** 町の貴重な財産の有効活用を図ることが、自主財源の少ない当町では喫緊の課題である。新しく取得された八鍬林業跡地の活用については、健康センターの施設の中に出張診療所を併設し地区民の健康管理や健康相談・教室などで元気のでる老人パワーを創造してはいかがですか。

町の活気は子どもたちの元気な声が届くことである。それには若者定住促進は欠かせません。また、若者に安価な土地・

建物を提供すると共に子育て支援も必要です。来春開所になる統合保育所には、共働きの若い夫婦が安心して子どもを産み育てることが出来る機能の充実に望みます。

町内の持家に住んでいる方が高齢に伴い転出や施設に入所等で、まだまだ十分に使用できる住宅「空家」が今後多く出てくると思われませんが、都会からのUターンや、団塊の世代の移住や帰農も含めた定住促進への活用について伺います。

**町長** 旧舟形小学校跡地を若者定住促進対策の一環として宅地分譲や賃貸借集合住宅として有効に活用していきます。

町有地の有効活用については、この課題は「ふながた」が「ふながた」の中でも取り上げております。町職員による調査で、未利用の町有地である程度の規模を有し集落周辺に存在する利活用可能な土地を絞り、町の財産として将来とも活用していく土地、売却処分により民間活力を期待する土地、に分類しました。

18年度で町有地7件、面積1725㎡、金額約1200万円です。今後、随時、売却していきます。長沢八鍬林業工場跡地については、この土地は地区の中枢部に位置する利便性の高い土地で長沢地区の陳情を受け購入しました。利用方法は長沢地域の皆さんの意見を最優先に、次期舟形町基本構想で示したいと考えております。議員が申されるように、健康センター、出張診療所も考えられますが、医師の問題等、課題も多いため、慎重かつ積極的に進めていきます。

町内の空き家対策については、調査によると全町で24戸あり、そのうち入居可能な空き家は10戸程度と確認しております。利活用するには現所有者の確認、相続権利者、親族の消息調査、内部の状況での借主の考えなど、空き家ならではの課題があるものもありません。何よりも現権利者が、貸し借りや売却を望んでいるかの確認が必要です。他市町村のホームページなどの状況を見ながら検討いたします。



沼澤正則 議員

# ごみ減量と町有施設の有効活用で財政対策を

## トレー回収ボックスの設置と小規模多機能型介護施設の創設を検討



若あゆまつりでトレー回収

**質問** トレーの回収ボックスの設置、生ごみからのたい肥作りが燃やせるごみの減量につながり、支出削減になると考えますが、いかがでしょうか。また、統合後に廃所になる各保育所を

最上町のように、健康スポーツトレーニングセンターとして、各自に合ったメニューを提示し用具の準備や後片付けを各自で行う方式で人件費をかけずに財源となる講座が開けるとよいと

考えますが、いかがでしょうか。さらに医療・福祉教育の場として医療福祉大学・専門学校として活用するかどうかについてはいかがでしょうか。医療・福祉に関する資格の取得、高齢者に伴う体の不調を治す・緩和する方法を研究する科を創設し、町施設による研究実践・実習、その後の職員としての採用という流れができると考えます。すなわち、人口・消費拡大による税収増が見込める政策と考えますがいかがでしょうか。

**町長** 町ではトレー回収については、現在は新庄市内のスーパの回収ボックスに呼びかけております。町内に回収ボックスを設置することにしましては、関係団体と検討中であり、試行を検討していきたいと考えています。なお、今年若あゆまつりで使用する弁当箱、芋煮容器（P&Pリパック）の回収を実施します。

生ごみの堆肥化については、施設整備費や人件費、新たな分別などもあり、住民の意識改革も必要になってくるため、今後関係団体と検討していきたいと思っております。生ごみ減量の取り組みとして、水切りバケツを使用し、21名のモニターが7月から6ヶ月間、減量効果を調査しています。

保育所統合後の現保育所の利活用についてでありませんが、建設時に国・県から補助金を受けており、未だ耐用年数を経過していませんので、来年4月からは一旦は休止届けを出して維持管理していきます。利活用については2つの提案がありますが、町の高齢化率は31%、要介護・要支援者320名、施設入所待機者は50名を超えています。

6月に「舟和会」では地域密着施設として活用したい旨の申し出がありました。これは要介護者の希望に沿って通いを中心にして、宿泊ができる「小規模多機能型介護施設」を創設し、中重度になっても在宅で生活できるように支援するものです。町は今後、舟和会の事業計画を精査し、平成20年度に「町老人福祉計画・介護保険事業計画」に盛り込み、平成21年度以降に実施したいと考えております。



八鍬 太 議員

# 充実した子育て支援の展開を

## 安心して子育てのできるまちに



統合舟形保育所完成図

**【質問】** 少子高齢化の傾向が急速化し国・県のみならず、各自自治体においてもその対策に苦慮し、さまざまな取り組みが試行錯誤の中で実施されています。

町においても総人口に対して児童生徒のしめる割合は、平成21年度は13%にまで落ち込むと予想されています。積極的な子育て施策の実施によってはまだまだ回復できる余地があると思われませんが、町の次世代育成支援行動計画の方向性と

する教育や子育ての推進と実現に向け以下の4点に対する考えをお聞かせください。

- 1、来年4月には統合保育所を拠点とする子育て事業の展開
- 2、少子高齢化に歯止めをかける安価に手軽に住める住宅確保の対策
- 3、スポーツ少年団の活動の拠点となる施設利用に対する支援対策
- 4、中学生までを対象とした医療費の無料化に対する実施の方向性

**【町長】** 町次世代育成支援行動計画の基本理念は「安心して子どもを産み、健康でいきいきと育てることのできるまちづくり」をめざしています。

一、子育て事業の展開については新保育所内に設置する子育て支援センターに、保育士と保健師を配置し、入所園児と在宅児童についても「育児相談、子育てアドバイザー」をはじめ、「発達段階に応じた各種指導充実」と社会教育との連携による「子育て講座」の開催、保護者同士の交流と情報交換の場としても充実させ、子育ての拠点としていきます。

また、児童生徒が施設を利用する際の照明料等の在り方や地域支援交付金の在り方についても広く意見を求めながら検討します。

四、中学生までの医療費の無料化についてはありますが、現在就学前までは単身事業と町事業により無料化になっています。

小学生・中学生については、県単事業の枠外で県に拡大を要望しておりますが、当町だけの実施は困難な状況にありますので、子育て支援金などの一時金として支給できないか、検討していきます。

二、町にとりましても若者の定住は大きな行政課題であります。若者の定住促進対策の一環として、旧舟形小学校跡地の有効活用を検討しています。宅地分譲や集合住宅の建設により若者の定住を促進して参ります。

三、今年度は、スボ少活動などを支援するために新たに「地域支援交付金」を予算化しました。今後とも青少年の活動は積極的に支援します。



信夫正雄 議員

# 町民生活を見据えた行政を

## 雇用拡大、企業誘致協議会をめざし

**【質問】** 若者の定住促進が叫ばれて久しいが、高学歴社会で学んだ若者達が望むような就業場所が、極端に少ないことや、今まで地域経済を支えてきた農家が、農業所得の減少等により、農

業後継者が定着しないことなどが要因となり、集落内の若者が減少し、比較的大きい集落においても、近い将来、集落としての機能や活力が失われていくように思われる。このような現象



豊作の秋を喜べるような農政を

は地域格差を益々助長するものであり、地方自治体の首長達は、この現況を国・県に強く訴えていく責務があると思つ。特に優良企業の誘致には、新庄、最上郡内の首長達の連携プレーが最も必要と思つが、今後の対応を伺います。

農家も、今年度から導入された「集落営農」に対し、今後どのような農業形態を選択すべきか戸惑いが見られる。今後の農業振興策を伺います。

今、町民の生活に豊かさを感じられない。もっと町民の生活状況を見据えた町政をお願いしたい。

**【町長】** 過疎地域における集落の崩壊が懸念されております。国が実施した将来の集落予測調査によると6万2271集落の内10年以内に422集落が消滅する恐れがあると警告しています。

また、65歳以上の高齢者が過半数を占める「限界集落」は7873集落に達しているます。集落で発生している耕作放棄地や空き家の増加、森林の荒廃等共通課題も多い。各集落の活性化が町の発展につながることを確信し課題解決に向け真剣に取り組んで参りたい。

若者のための企業誘致につきましても、県からの企業紹介を受けながら企業誘致活動を実施してきましたが、誘致までには至りませんでした。新庄・最上地区全体の雇用拡大をめざして、8市町村で企業誘致協議会を立ち上げ福田工業団地への企業誘致活動を積極的に

推進しています。町としても新庄・最上地区の市町村と協力して優良企業誘致活動に引き続き取り組んでいきます。

町の農業の現況は、米価を始め、農作物の価格低迷に加え、農業機械・資材等の経費増大により、経営のひつ迫が農業離れを増長していると考えられます。

町では、営農改善協議会において、園芸等複合経営への転換を推進しています。近年、ニラ・山菜・花き等により所得の向上を図っている農家も多くなります。

また、「夏秋いちご」、「山ぶどう」、「りんどう」等新しい園芸作物に取り組み農家もあり、積極的に支援しながら生産農家の拡大も図って行ければと考えます。



大場清之 議員

# 地産地消と食育について

## 心身共に健康づくりを

**質問** 私達をとりまく農業情勢はますます厳しさを増し、米価を始め農産物全体の価格が低迷傾向にあります。

農家経済が大きくゆらいている中、各地域で生産した物はそれぞれの地域で消費する地産地消が進められております。

生産者は安全で安心して食べられる農産物を消費者に届けるよう努力しております。

食育についてですが、今の子どもは山形県の調査により朝食を抜く子どもが中学生では13%、また肥満傾向も全国平均を大きく上回る結果となっており、食の大切さが問われている時でもあります。

そうした中、我が町での保育所、小・中学校のあり方が特に大事かと考えます。今後の学校給食と地産地消とかねあいを、町長はどう考えているのか、お聞きします。

**町長** 食の状況は、一言で言えば多様化している上に、個々の食習慣も大きく変わってきています。その一方で、団らんのない食事や朝ごはんを抜く子どもたちの実態も明らかになってきています。食は生きる基本であり、コミュニケーションや健康づくりとも関わっています。

食育は、食べ物を選択する力や食文化への関心、感謝の気持ちの育成など、たくさんねらいがあります。それを再認識し実践する教育です。舟形町では、学校経営計画の中に、食育を位置づけ積極的にすすめております。併せて、「地産地消」の活動もすすめています。

「舟形方式」と評価されています。この方式は、納入業者が地元から新鮮な農産物を購入して学校に納入し、学校は児童生徒に対し地元食材をはじめ、栄養バランスなどを教えています。

過日、地産地消の会議を開催し情報交換を行いました。より充実した活動をすすめるためにも、最上管内の関係機関や山形県とも連絡を密にしながら、「食育と地産地消」を結びつけ、更に力を入れていきます。



地元の食材を生かした給食風景が

### シリーズ

## 一般質問のめぐろ

(平成18年6月定例会)

### 質問

今回構築した光ファイバーを利用し、町独自のブロードバンド整備を。

### 答弁

各家庭までの整備を検討していますが、先のアンケートでは家庭までの希望者が少なく、再度、理解を得ることが必要です。

### 現状

各家庭までの高速通信網の整備は計画段階です。この度、再度アンケートで希望者を調査しており、ある程度の需要があれば進めていきます。

### 請願

9月定例会で審査した請願は次のように決定しました。

私学助成予算増額についての意見書提出を求める請願

採択

請願者

学校法人新庄学園新庄東高等学校PTA

会長 小野 宏

山形県は、県財政再建の一環として2006年度予算、07年度予算で私学助成関係予算を削減しました。

しかし私学助成金は非義務的経費と位置づけていることに関係者は不安を募らせています。この2年間の県の私学助成に対する姿勢は現在の公私格差をさらに拡大させ、私学に通わせる父母さらには私学の経営自体にも深刻な打撃を与えるものになると考えています。父母負担の軽減及び教育予算の改善のため、2008年度県予算において、私学助成関係予算の増額を是非実現していただきたいと思っております。私学助成関係予算増額についての意見書を県議会並びに関係機関

に提出していただきたくお願いいたします。

悪質商法を助成するクレジットの被害を防止するため、割賦販売法の抜本的改正を求める意見書を政府等に提出することを求める請願

採択

請願者

山形県司法書士会

会長 峯田 文雄

日本司法書士政治連盟山形会

会長 早坂 幸久

クレジット会社は、具体的な信基準を伴う実効性ある規制を行うこと。クレジット会社には、加盟店を調査する義務だけでなく、既払金の返還義務を含む民事共同責任を規定すること。

1〜2回払いのクレジット契約を割賦販売法の適用対象に含め、原則としてすべてのクレジット契約を適用対象とすること。個品方式のクレジット事業者について、登録制を設け、契約書面交付義務及びクーリングオフ制度を規定すること。

地方財政の充実・強化に

向けた意見書提出を求める請願

採択

請願者

連合山形新庄最上地域協議会

議長 青柳 直

請願事項

国・地方の税収割合5対5の実現に向け、さらなる税源移譲と国庫補助負担金の改革を進め、税財政制度の改革を進めること。特に自治体間勢力格差を是正するための地方税の充実強化をはかること。

国が法令に基づく事業実施を自治体に義務づけ、自治体間の財政力格差が大きい現状においては、地方交付税制度の財源保障と財政調整機能を堅持し、自治体間の安定的な財政運営に必要な一般財源の総額を確保すること。

地方自治体の意見を十分に踏まえた対処を行うこと。以上のことについて、国との関係機関に意見書を提出されることをお願いいたします。

教育予算の拡充を求める意見書提出についての請願

採択

請願者

山形県教育組合最上地区支部

支部長 矢部 暁

義務教育費国庫負担金の負担割合が2分の1から3分の1に縮小されたことや地方交付税削減の影響、厳しい地方財政の状況などから、自治体独自に少人数教育を推進することには限界があります。つきましては次の事項の実現について、国との関係機関に意見書を提出していただくよう、お願いいたします。

義務制第8次・高校第7次教職員定数改善計画を実施すること。

義務教育費国庫負担制度について、国負担率2分の1に還元することを含め、制度を堅持すること。

地方交付税を含む国の予算を拡充すること。

地方交付税を含む国の予算を拡充すること。教職員に人材を確保するため、教職員給与の財源を確保・充実すること。

今期採択の請願についての意見書を政府関係機関に提出しました。

# 声 声 声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せ下さるようお願いしています。

天高く収穫の喜びのほす、改革を伴いながら行われた、4月の町議会議員選挙に、風が吹いたと思つたのは自分だけだったろうか。若い人たちの風、無党派層(?)という風、そんな風が吹いたと自分は思う。これはたしかに民意であり、議会や議員たちへの期待の表れだったかと思う。当選された議員たちは自覚すべきと思う。今、若い人たちの交流が盛んだと聞きます。都会の人たちと交流が盛んだと聞かれましたが、次の選挙が楽しみです。



堀内地区連合町内会  
会長 小野幹雄さん

きます。「農地と水」の政策を活用してまとまってる集落もあると聞きます。若者たちも町も、少しずつではあるが変化しているんじゃないかと自分なりに思うときがある。それ等を含めて議会はどのように対応し、議員の皆さんはどんな意識を持って仕事をしてくれるのかと、期待をしてみたい。本音を語り、意見をぶつけてくる若者が増えている気がします。さあ次はどんな風が吹くかはぼつたことを申し上げましたが、次の選挙が楽しみです。

## 情報公開審査会委員の委嘱を同意

情報公開条例に基づき満場一致で同意しました。

高橋久資氏 (75歳)



長沢1161番地の1

佐藤 毅氏 (72歳)



舟形106番地2号

矢作幸夫氏 (74歳)



堀内7番地

任期は平成19年10月1日より平成23年9月30日まで

## 町村議会議員新議員研修

町村議会新議員研修会が8月31日、山形市内の自治会館を会場に行われました。

この研修会は、4年に一度、前・後期に分かれて、県町村議会議長会主催で実施されるものです。

前期対象の本町議会からは、3名の新議員が出席し、「地方議会制度と運営について」をテーマとする講演に耳を傾けていました。

講師の野村稔氏は、長年、全国都道府県議長会に勤務されていた方で、議会運営には欠かせない議会会議規

則等多くの議会運営に係る制度の整備や運営に携わってきました。

野村氏は「国会と地方議会は、その制度が異なっていることから、国会中継などを見て、地方議会運営の参考にはならない。」「多くの自治体で、議員定数を削減しているが、議会は定数が減った分、住民の代表者としてどのように議会を活性化していくのかを、真剣に考える時代である。」「など熱く、身振りを混えて、二時間語りかけました。



真剣に受講する新議員

## 編集後記

史上最高気温を記録した酷暑「猛暑」による高温障害による米の品質低下が心配されましたが、一等米比率が93%以上高品質米確保することができ安堵しているところです。

国政においては参議院選挙において、予想を超える自民党の大敗、突然の安部首相の辞職、福田首相の誕生等、予想を超える出来事が起こり、今後も政治の動向に関心が持たれます。

9月定例会では決算審査においては決算の内容や施策等、今後住民の要望、サービスにどう反映されるのか、議論が交わされました。特に税や使用料の未済額について町当局の取り組みを正し、その対策に議論が集中しました。

多くの方々の傍聴と貴重な感想をいただきありがとうございます。

寒い季節に向かいます。体調をくずしやすいので、かせ等引かないように身体を御自愛ください。

(叶内富夫記)



議会だよりふながた

発行 舟形町議会  
編集 議会報編集委員会

〒999-4601 山形県最上郡舟形町舟形263番地  
電話(0233)32-2111